

事務事業 No./名 称	☒ サービス部門 都整-39 施設整備事業(汚水) ☐ 支 援 部 門										
主管課	下水道河川課				関連課		都市整備総務課、浄化センター				
分野名	下水道・河川										
目標 (目標値)	生活環境の改善及び公衆衛生の向上に寄与し、公共用水域の水質の保全に資する。										
人口等のデータ	データ区分	25年度		24年度		23年度		備 考			
	人 口	177,895人		177,224人		177,204人		・各年4月1日 (住民基本台帳)			
	世 帯 数	80,295世帯		79,669世帯		79,217世帯					
	事業の対象者数	172,043人		171,425人		171,528人					
運営資源状況	決算値(千円)	181,901		324,249		365,421					
	(国・県)	700		50,435		5,953					
	(負担金等)	136,500				0					
	(一般財源)	44,701		273,814		359,468					
	人員配置数	8.0人		9.0人		9.7人					
	人 件 費(千円)	62,985		72,476		84,698					
	協働のパートナー										
事務事業 運営経費	総事業費(千円)	244,886		396,725		450,119					
	市民1人当りの経費(円)	1,377		2,239		2,540					
	対象者1人当りの経費(円)	1,423		2,314		2,624					
ベンチマーク(県内 外自治体や民間団体 との比較値)	団体名⇒	横浜市	鎌倉市	藤沢市	茅ヶ崎市						
	人口(千人)	3707.8	177.9	420.2	239.3						
	処理人口	3700.5	172.4	399.1	228.1						
	普及率	99.8%	96.9%	95.0%	95.3%	H24年度末					
指 標	評価	年度	22年度		23年度		24年度		25年度		最終年度(27年度)
汚水管渠整備率	△	目標値	100%		100%		100%		100%		100%
◎目標を達成 ○目標に向かって前進 △横ばい ×後退		実績値	99.5%		99.5%		99.5%		99.5%		

中事業に含まれる小事業の方向性(⇒個別事業の概要は裏面)

(千円)

H25小事業名	H25決算値	H26小事業名	H26予算額	A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止			
施設整備事業 (経常)	24,391	汚水排水施設整備事業 の一部	250,188	今後の 方向性	B	理由 ・手法	市街化区域の下水道未整備箇所については、引き続き問題箇所の課題解消に向けた取り組みを行う。
施設整備事業 (政策)	157,510			今後の 方向性	A	理由 ・手法	下水道施設の老朽化が進む中で、事後保全型管理から予防保全型管理に向けた取り組みを行う。
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	
				今後の 方向性		理由 ・手法	

中事業の評価(事務事業の課題、取組状況、今後の方向性)

H25年度の課題	・市街化区域内の汚水管渠の未整備箇所では、用地問題等で関係者との交渉に時間がかかり計画的な予算執行が困難となっている。 ・下水道管路等施設の標準耐用年数50年を越す管渠等の増加に伴い、老朽化による不明水の浸入や損傷等による修繕費が増大している。 ・災害時の緊急輸送路の耐震化工事を早急に行う必要がある。												
課題解決のための取組	・地元要望や道路排水、舗装工事等の計画に合わせるなどして、下水道工事を円滑に実施できるように調整している。							取組の結果	☐ 解 決 ☒ 未解決				
未解決の課題	・市街化区域の課題としては、主に未査定道路や私道であるが、土地所有者の理解と協力が必要となることから、解決に時間がかかっている。 ・大雨時等に汚水管渠に不明水が大量に浸入することによる、汚水人孔からの汚水の溢水防止対策を行う。 ・施設の長寿命化対策を実施することによる、維持管理費の平準化を行う。												
中事業の評価	適切＝○要改善＝△(2面「評価の視点」を参照)			➡		①効率性	○	②妥当性	○	③有効性	○	④公平性	○
今後の方向性 (課題解決に向けた取組 ・H26予算への反映)	・市街化区域内の汚水管路施設の未整備箇所の解消に努める。 ・施設の長寿命化を図りながら、不明水の浸入や溢水防止対策を合わせて行う。 ・災害時の患者搬送や物資輸送に支障が無いように、緊急輸送路を含む重要路線の耐震化を進める。							A: 充実・拡大 B: 現状継続 C: 改善・見直し D: 統合縮小 E: 廃止・休止 ➡		A			
※○事業完了													
評価者名						下水道河川課担当課長			藤 木 修				

(2面) 小事業・個別事業の評価

評価のポイント

評価の視点	①効率性	事業費や人件費に削減余地はないか。	②妥当性	事業の目的と政策・施策体系の目標とが整合しているか。法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか。
	③有効性	事業の成果が得られているか。事業を休止・廃止した場合影響があるか。	④公平性	受益機会が偏っていないか。受益者負担は公平・公正か。

(単位:千円)

小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
						○	○	○	○
施設整備事業(経常)	市街化区域の污水管渠築造工事を、前年度からの繰越明許費を含めて行う。経年劣化が著しい污水管路施設を対象に、施設の機能低下、施設の破損等による道路陥没、そして浸入水による溢水などに対する予防保全措置を行う。宅内排水設備の設置に伴い、未設置となっている公共汚水ますを設置する。					○	○	○	○
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		541	事務補助嘱託員報酬 2人	2,057	2,056	○	○	○	○
		541	事務補助嘱託員費用弁償	83	87	○	○	○	○
		541	OA用品等消耗品費	471	469	○	○	○	○
		541	燃料費	270	202	○	○	○	○
		541	陽画等印刷製本費	180	100	○	○	○	○
		541	車両修繕料	247	116	○	○	○	○
		541	污水管渠建設等に伴う県道自費復旧事務費手数料	60	0	○	○	○	○
		541	各種機器点検等手数料	65	10	○	○	○	○
		541	公共汚水ます設置委託料	5,100	6,439	○	○	○	○
		541	污水台帳調製委託料	3,000	1,975	○	○	○	○
		541	公共下水道簡易電子台帳作成業務委託料	4,200	284	○	○	○	○
		541	下水道管路施設(汚水)資産台帳等作成業務委託料	7,000	0	○	○	○	○
		541	工事資材単価特別調査委託料	300	65	○	○	○	○
		541	電子複写機賃借料	360	219	○	○	○	○
		541	市街化区域の污水管渠築造工事請負費 腰越第1枝線(腰越五丁目14番先)(前年度からの事故繰越し)	0	3,861	○	○	○	○
		541	市街化区域の污水管渠築造工事請負費 大船東枝線(小袋谷一丁目7番先)	40,000	8,442	○	○	○	○
		※□	541	地下埋設物移設等補償金	3,000	59	○	○	○
		事業完了	541	自動車重量税等公課費	7	7	○	○	○
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
						○	○	○	○
施設整備事業(政策)	下水道事業の計画的な実施を図るため、都市計画法・下水道法の事業認可変更の手続きを行う。老朽化した污水主要幹線を改築し、将来の中継ポンプ場等の廃止、維持管理費の軽減など持続可能な下水道施設の構築を行う。また、長寿命化計画策定業務委託の17,000千円を翌年度へ繰越した。					○	○	○	○
	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
		542	污水管渠建設等に伴う県道自費復旧事務費手数料	100	0	○	○	○	○
		542	公共下水道事業計画変更認可等業務委託料	15,940	15,940	○	○	○	○
		542	持続型下水道幹線再整備計画の基本計画策定業務委託料	10,000	10,000	○	○	○	○
		542	下水道管路施設の長寿命化計画策定業務委託料(翌年度への繰越明許費)	28,000	0	○	○	○	○
		542	鎌倉処理区污水管渠等修繕工事請負費(腰越第1枝線)	200,000	17,556	○	○	○	○
		542	鎌倉処理区污水管渠等修繕工事請負費(二階堂污水幹線外)		48,018	○	○	○	○
		542	鎌倉処理区污水管渠等修繕工事請負費(大町污水幹線)		7,649	○	○	○	○
		542	大船処理区住宅団地汚水管渠等修繕工事請負費(今泉台第1団地)		19,943	○	○	○	○
		542	大船処理区住宅団地汚水管渠等修繕工事請負費(大平山・丸山団地外2件)		38,404	○	○	○	○
		※□							
		事業完了							
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
施設整備事業(政策)	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								
小事業名	事業概要					【小事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
施設整備事業(政策)	主な個別事業	ザイムスコード	個別事業名	25年度当初予算	25年度決算値	【個別事業の評価】 評価⇒適切＝○、要改善＝△			
						①効率性	②妥当性	③有効性	④公平性
※□	事業完了								